

2019年5月23日

～2019年 ゴールデンウィーク集客動向調査～

過去最長の10連休で 人出は前年比+24.0%増

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、令和への改元を機に4月27日から5月6日にかけて、過去最長となった「ゴールデンウィーク集客動向調査」の結果をとりまとめましたので、その概要をご案内します。

調査結果の概要

1. 今年のゴールデンウィーク期間中に行われたイベントや主要観光施設（270カ所）の人出は延べ929万人で、前年と比べて+24.0%と大幅に増加した（1日平均は92.9万人で、昨年（83.2万人）と比較して+11.7%増加）。
2. 天皇陛下の代替わりに伴う過去最長の長期連休となり、期間を通じて満遍なく客を集めた施設・イベントが目立った。県内最大の祭り「浜松まつり」（浜松市）の来場者は前年比+18.3%増加した。また、「藤まつり」（藤枝市）も前年を+56.5%上回るなど、花関連の施設・イベントも人気を集めた。
3. 各行楽地が盛り上がりをもせた一方で、連休の大型化による課題も浮かび上がった。労働力不足が深刻化する中、イベント運営・施設事業者の2割が人手の確保に難航し、観光産業の現場は10日間にわたって慢性的な多忙感を強いられたとみられる。
4. 仮に個人単位で連休の取得時期をずらすことができれば、行楽需要の過度な集中を防ぎ、観光地の繁閑を平準化することにもつながる。一斉休みで集客増と人手不足という明暗両面が浮かび上がった今年の連休を、働き方・休み方を考えるきっかけにしたい。

※本件のお問い合わせ先 担当（清 亮介、高林 和徳）

2019年ゴールデンウィーク集客動向調査

～改元に伴う過去最長の10連休で、人出は前年比+24.0%増～

- 今年のゴールデンウィーク期間中（10日間：4月27日～5月6日）に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設（270カ所）の人出は延べ929万人で、前年（9日間：4月28日～5月6日、749万人）と比べて+24.0%と大幅に増加した。1日平均は92.9万人で、昨年（83.2万人）と比較して+11.7%増加し、大勢の行楽客で賑わった。
- 天皇陛下の代替わりに伴う過去最長の長期連休となり、期間を通じて満遍なく客を集めた施設・イベントが目立った。改元を記念した慶祝イベントも活発で、集客数に加えて消費単価も上がった。県内最大の祭り「浜松まつり」（浜松市）の来場者は前年比+18.3%増加した。また、「藤まつり」（藤枝市）も前年を+56.5%上回るなど、花関連の施設・イベントも人気を集めた。
- 各行楽地が盛り上がりを見せた一方で、連休の大型化による課題も浮かび上がった。労働力不足が深刻化する中、イベント運営・施設事業者の2割が人手の確保に難航し、観光産業の現場は10日間にわたって慢性的な多忙感を強いられたとみられる。
- 仮に個人単位で連休の取得時期をずらすことができれば、行楽需要の過度な集中を防ぎ、観光地の繁閑を平準化することにもつながる。一斉休みで集客増と人手不足という明暗両面が浮かび上がった今年の連休を、働き方・休み方を考えるきっかけにしたい。

県内全域で前年比二ケタ増 全期間休日となり、客足は大幅に増加

今年のゴールデンウィーク（以下、GW）は、4月27日（土）から5月6日（月）までの10日間で、前年（4月28日（土）から5月6日（日））から1日延びた。時代の節目となる平成から令和への改元に伴い、初めての10連休となったため、イベントや施設の集客は分散し、どの日も満遍なく賑わった。

気象庁の発表によると、前半はぐずついた天気が多かったが、5月2日以降の後半に晴れ間が広がり、行楽日和が続いた。

3月に中部横断自動車道や新東名高速道路、新名神高速道路が部分開通するなど交通インフラが

整備されたことにより、首都圏や中京圏など都市部からの来訪者が多くみられた。

こうした要因から、GW期間中の静岡県内の主なイベントや観光施設270カ所の人出は延べ929万人で、前年（749万人）から+24.0%と大幅に増加。1日平均にすると92.9万人で、前年（83.2万人）と比べ+11.7%増加し、県内各地は行楽客で大賑わいとなった（詳細は23頁、図表6参照）。

東部地域は、「富士川楽座」などの道の駅がリニューアルオープンしたことで人出が伸び、地域全体で+23.2%の増加となった。中部地域は、昨年11月にオープンした「日本平夢テラス」が人気を博したことや、花の見ごろがGWに重なった「藤まつり」の来場者数が前年から大きく増加し、地域全体で+32.3%増加。西部地域も、恒例



▲晴天に恵まれ賑わう「浜松まつり」



▲多くの観光客が訪れた新観光スポット「日本平夢テラス」

の「浜松まつり」の人出が、悪天候の影響を受けた昨年から30万人以上増えたことなどにより、全体では前年比+19.8%増加した。

なお、7万人以上を集客したイベントや施設は図表1の通りである。以下、GW期間中のイベントや観光施設を6つのグループに分け、今年の特徴をみていく。

1. イベント (36先)

〔人出 329.6万人 前年比+24.1%〕

～好天に恵まれ、屋外イベントは好調～

県内の主要イベントの集客数は329.6万人と、前年に比べて+24.1%増加した。GW期間中における

る県内最大のイベント「浜松まつり」（浜松市）は、晴天に恵まれ3日間ともに人出が60万人を超える盛況をみせ期間合計で209.7万人、雨天の影響で人出が鈍った前年（177.3万人）から+18.3%増加した。また、「藤まつり」（藤枝市、前年比+56.5%）や「小室山公園つつじ祭り」（伊東市、同+31.7%）、「池田・熊野の長藤まつり」（磐田市、同+7.7%）といった花関連イベントは、花の開花時期が重なったことと、天候に恵まれたことで前年から増加した。一方、「シズオカ・サンバカーニバル」（静岡市、同△3.6%）は、2日目となる5月4日に天気が崩れて客足が遠のき、前年から減少となった。

図表1 静岡県内のGW集客7万人以上のイベント、施設

	イベント、施設名	集客人数	前年比
1	浜松まつり(浜松市)	209.7万人	+18.3%
2	ブレ葉ウォーク浜北(浜松市)	25.7万人	+14.4%
3	藤まつり(藤枝市)	18.0万人	+56.5%
4	富士川楽座(富士市)	16.9万人	+30.1%
5	今川復権まつり(静岡市)	14.9万人	今年初開催
6	シズオカ・サンバカーニバル(静岡市)	13.5万人	△3.6%
7	道の駅 伊東マリンタウン(伊東市)	13.4万人	+28.4%
8	道の駅 伊豆ゲートウェイ函南(函南町)	12.5万人	+66.3%

	イベント、施設名	集客人数	前年比
9	アクトシティ浜松(浜松市)	11.9万人	+4.5%
10	箱根西麓・三島大吊橋 スカイウォーク(三島市)	11.6万人	+20.8%
11	焼津さかなセンター(焼津市)	9.9万人	+33.5%
12	富士スピードウェイ(小山町)	9.2万人	+6.4%
13	浜名湖ガーデンパーク(浜松市)	9.0万人	+18.1%
13	浅間大社 流鏝馬祭(富士宮市)	9.0万人	+5.9%
15	道の駅 伊豆のへそ(伊豆の国市)	8.2万人	+499.1%
16	日本平夢テラス(静岡市)	7.5万人	昨年11月オープン

注) データ公表が可能なイベント、施設のみを掲載した

資料：当所アンケート

2. 商業施設・道の駅（50先）

〔 人出 326.4万人 前年比 +19.6% 〕

～店舗のリニューアルやイベントの効果により増加～

商業施設・道の駅の集客数は326.4万人と、前年を+19.6%上回った。回答のあった50先のうち前年から増加した施設は、およそ7割の34先にのびた。

百貨店やショッピングセンターなどの大型商業施設では、「普段の休日と比べファミリー層の来店が目立った」といった声が聞かれ、前年を上回る施設が目立った。改元に合わせてイベントを開催した施設が多く、「プレ葉ウォーク浜北」（浜松市、前年比+14.4%）では、改元を祝う大規模なセールを実施し、盛り上がりを見せた。

また、道の駅は県外からの来訪者も多くみられ、回答のあった18施設中16先で前年実績を上回った。とりわけGW直前に土産売場を全面改修した「富士川楽座」（富士市、同+30.1%）や近隣に新しい観光施設ができた「道の駅 伊豆ゲートウェイ函南」（函南町、同+66.3%）などは前年から大幅な増加となった。

このほか、「杜のマルシェ 2019」を開催した商業施設「大社の杜みしま」（三島市、同+163.3%）など、GWにあわせて特別イベントを実施した施設でも賑わいをみせた。

3. 参加・体験型施設、娯楽施設（81先）

〔 人出 165.5万人 前年比 +33.3% 〕

～イベントや特別企画の開催により、集客数は大幅増加～

参加・体験型施設や映画館など娯楽施設の来場者数は165.5万人と、前年比+33.3%の大幅増となった。まず、テーマパークなどの参加・体験型施設では、「10連休となったことで前年平日だった5月1日、2日の来場者数が大幅に増加した」（「伊豆ぐらんぱる公園」（伊東市、前年比+36.0%））といった声が聞かれた。また、「箱根西麓・三島大吊橋 スカイウォーク」（三島市、同+20.8%）や「日本平ロープウェイ」（静岡市、

同+35.1%）、「静岡県立森林公園」（浜松市、同+7.3%）など、眺望を満喫できる体験型施設も前年を大きく上回る集客数となった。昨年11月にオープンした「日本平夢テラス」（静岡市）は、周辺施設で行われた静岡デスティネーションキャンペーンの特別企画と連動して、閉館時間を17時から20時に延長したことが奏功し、多くの観光客が来訪した。

娯楽施設では、4月27日から5月1日までの5日間に特別オートレースを開催した「浜松オートレース場」（浜松市、同+84.3%）が大幅増となったほか、映画館でも「アベンジャーズ/エンドゲーム」と「名探偵コナン 紺青の拳」が大ヒットしたことで、入場者数が低調だった前年を4割近く上回った。

一方、ブームが続いているキャンプ場は、前半が悪天候に見舞われたことに加え、一部の大手キャンプ場でテントサイトを完全予約制にしたことにより、集客数は前年並みにとどまった。

4. 動植物園・水族館（23先）

〔 人出 50.3万人 前年比 +18.5% 〕

～首都圏から好アクセスの東部・伊豆が牽引～

動植物園・水族館の来場者数は50.3万人で、前年を+18.5%上回った。首都圏からアクセスしやすい東部・伊豆地域の各施設が集客を牽引。「伊豆シャボテン動物公園」（伊東市、前年比+40.7%）、「伊豆アニマルキングダム」（東伊豆町、同+44.8%）の伸びが目立った。西部地域は「はままつフラワーパーク」（浜松市、同+35.1%）や「浜名湖ガーデンパーク」（同、同+18.1%）など、花の名所の存在感が際立った。

新元号「令和」の典拠となった万葉集にゆかりのある「万葉の森公園」（浜松市、同△28.7%）は、スマートフォン向けゲームの影響で来訪者が急増した前年に比べて集客は減ったが、万葉食「令和御膳」の提供などを通じて祝賀ムードを盛り上げたこともあり、「改元の影響で万葉集に興味をもった来園者が増えた」という。

5. 博物館・美術館、自然スポット（49先）

〔人出 33.9万人 前年比 +27.4%〕

～新元号「令和」関連イベントが盛況～

博物館・美術館、自然スポットの来場者数は33.9万人と、前年を+27.4%上回った。天皇陛下の即位に伴う祝賀ムードの中、「久能山東照宮」（静岡市、前年比+50.0%）が大幅に参拝客を増やすなど、御朱印目当てもあって寺社は例年になく混み合った。「掛川城」（掛川市、同+44.3%）も新元号を記念した登城記念の印影「御城印」を作成・販売して話題を集めた。

博物館などの文教施設も賑わった。施設のバックヤードを公開した「東海大学海洋学部博物館」（静岡市、同+65.3%）、趣向を凝らしたミニ企画を日替わりで連発した「浜松市楽器博物館」（浜松市、同+60.7%）は、いずれも前年比6割を超す盛況ぶり。こどもの日に合わせて、工作や実験、スタンプラリーなど参加・体験型イベントを用意した施設も目立った。

オープン2年目を迎えた「静岡県富士山世界遺産センター」（富士宮市、同△1.7%）と「ふじのくに茶の都ミュージアム」（島田市、同△9.7%）、前年は世界ジオパーク認定に沸いた伊豆半島ジオパークの中央拠点施設「伊豆半島ジオパークミュージアム ジオリア」（伊豆市、同△2.0%）は、いずれも新設効果が一服し前年割れとなったが、集客数自体は十分といえる水準だった。

6. 日帰り温浴施設（31先）

〔人出 23.1万人 前年比 +36.3%〕

～天候の影響を受けず、全施設が盛況～

日帰り温浴施設の来場者数は前年を3割上回る23.1万人で、「ほぼ毎日、来場客が前年を上回っていた」（御殿場市・ごてんば市温泉会館）など、連休大型化の恩恵を実感する声が多かった。天候の影響を受けずに期間を通じて人を集め、前年と比較が可能な全施設で増加した。キャンプ場やイベント会場に近い施設では、近隣の催しと連

動して来館者が集中するケースが目立った。

「さがら子生れ温泉会館」（牧之原市、前年比+33.4%）が改元記念の変わり湯を用意したほか、「しおさい竜洋」（磐田市、同+15.7%）も餅まきや植樹を実施するなど、慶祝イベントを展開する施設もあった。

明暗浮き出た過去最長の大型連休 働き方・休み方を再考する契機に

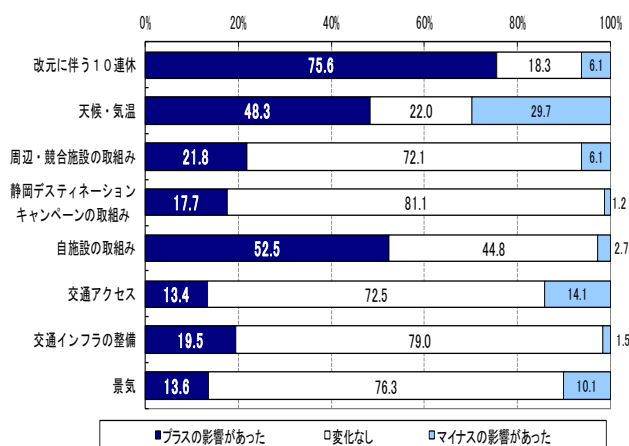
交通機関の利用状況も総じて前年を上回ったとみられる。JR東海管内における4月26日から5月6日までの新幹線の利用者は457.9万人と、前年を+18.0%上回った。また、中日本高速道路㈱によると、同期間の東名・新東名高速道路の県内区間※における1日あたりの平均交通量が134,500台と、前年より+19.0%増加し、活発な行楽需要を裏付けた。

今年の来場者数（人出）の増加要因として、回答者の75.6%が、改元に伴う10連休を「プラスの影響があった」と受け止めている（図表2）。例年なら平日となる4月30日、5月1日、2日の3日間が祝日となったことで、期間を通じて賑わいをみせる施設が多かった。

前例がない長期連休で、来場者の財布のひもも緩んだ。消費単価について「プラスの変化があった」と回答した事業者は「飲食代」が最多の38.1%で、前年調査と比べて+11.6ポイント上昇した（図表3）。「土産購入代」「入場料・イベント参加費」についても、ほぼ3割がプラスの回答。改元の浮揚感が消費を押し上げる傾向がみられた。期間中に実施した改元関連など特別なイベント・企画の有無について尋ねたところ、過半の52.9%が「実施した」と回答し、そのうちの87.8%が効果を実感している（図表4）。

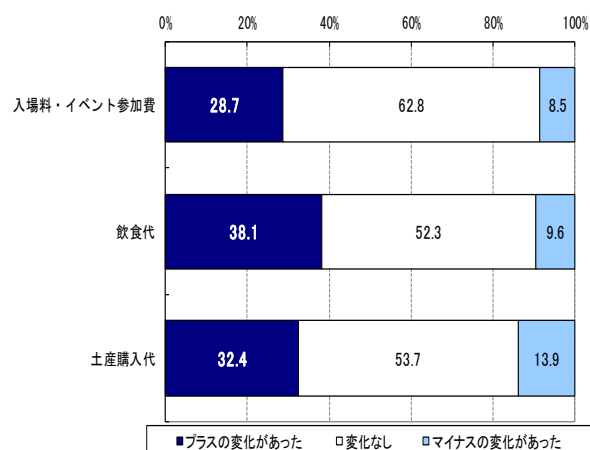
一方、連休の大型化は観光関連産業がはらんでいる課題も顕在化させた。過去のGWとの違いを尋ねると、「スタッフなど人手の確保が難しかった」との回答が最多の20.9%を占め、深刻化する労働力不足が受入側にとって大きな負担になって

図表2 来場者の増減要因



資料：図表1に同じ

図表3 来場者の消費単価



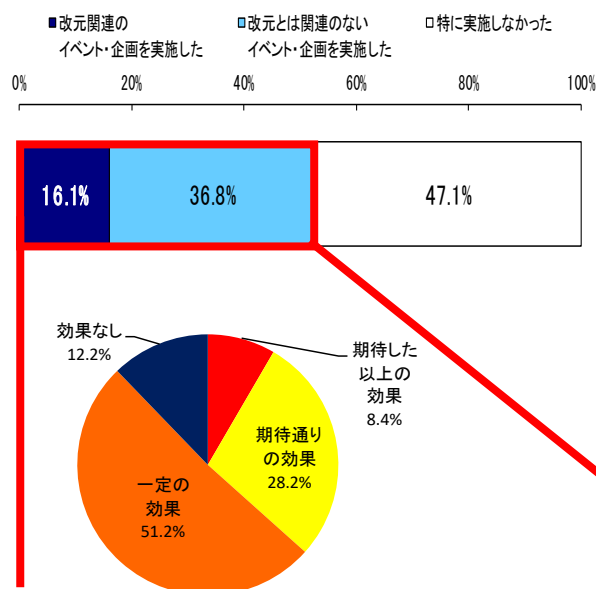
資料：図表1に同じ

いる実態を浮き彫りにした（図表5）。次いで、連休の大型化や交通インフラの充実などを背景とした「遠方からの来訪者が多かった」（18.8%）ことも今年の特徴といえる。また、「集客が分散し、繁閑の差が小さかった」との回答が18.3%あった一方、来場者が特定日に集中することなどによる「機会損失が発生」は4.4%にとどまった。長期連休中、行楽客側は渋滞状況などを勘案して出掛ける日を調整できる日程的な余裕があったとみられる。

そのほか、連休疲れによる集客の息切れや、仕入れ先の連休に伴って原材料や商品が入荷できなかったことを指摘する回答も1割超ある。金融機関が休業していたことで釣り銭が不足し、両替に奔走した施設・イベントも複数あった。

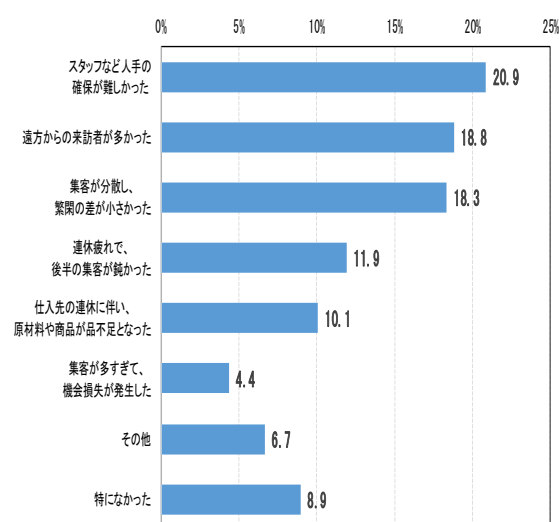
このように、集客面では地域、分野を問わず盛況だった一方、サービスの供給側では、運営上の厳しさを実感した事業者も少なくなかった。たとえば、一律に休むのではなく個人単位で長期休暇の取得時期をずらすことができれば、限られた期間に行楽需要が過度に集中する事態を防ぎ、受入側の繁閑もやわらげられるだろう。有給休暇取得の奨励と合わせて、それぞれの業種や業態、部署に応じて、柔軟な休み方を考える機運の高まりが望まれる。国を挙げた一斉休みで明暗両面が浮かび上がった今年のGWを、働き方・休み方を考えるきっかけにしたい。

図表4 特別なイベント・企画の導入の有無とその効果



資料：図表1に同じ

図表5 これまでのGWとの違いについて



資料：図表1に同じ

図表6 2019年GW静岡県内イベント、観光施設の入出

イベント、施設名	所在地	入出(人)	前年比(%)
富士川楽座	富士市	168,960	+30.1
道の駅 伊東マリンタウン	伊東市	133,572	+28.4
道の駅 伊豆ゲートウェイ函南	函南町	124,548	+66.3
箱根西麓・三島大吊橋 スカイウォーク	三島市	116,000	+20.8
富士スピードウェイ	小山町	91,800	+6.4
浅間大社 流鏝馬祭	富士宮市	90,000	+5.9
道の駅 伊豆のへそ	伊豆の国市	82,052	+499.1
春のあたまビール祭り	熱海市	56,000	+27.3
伊豆ぐらんぱる公園	伊東市	50,019	+36.0
春の大通り商店街まつり	三島市	46,000	+2.2
伊豆シャボテン動物公園	伊東市	40,149	+40.7
沼津 みなと新鮮館	沼津市	39,467	+24.9
富士山樹空の森	御殿場市	38,483	+1.5
小室山公園つつじ祭り	伊東市	35,700	+31.7
富士山こどもの国	富士市	34,855	△12.8
白糸の滝	富士宮市	32,449	+3.3
伊豆アニマルキングダム	東伊豆町	31,870	+44.8
あさぎりフードパーク	富士宮市	30,000	+22.4
道の駅 ふじおやま	小山町	29,515	+17.5
伊豆の国パノラマパーク	伊豆の国市	26,936	+56.6
道の駅 開国下田みなと	下田市	26,643	+27.4
大社の社みしま	三島市	25,621	+163.3
ながはま特設市	熱海市	23,952	+15.2
三島市立公園 楽寿園	三島市	23,242	△3.8
こいのぼりフェスティバル	沼津市	22,500	+26.4
静岡県富士山世界遺産センター	富士宮市	22,106	△1.7
伊豆修善寺サイクルスポーツセンター	伊豆市	21,100	+11.2
浄蓮の滝観光センター	伊豆市	20,861	+34.4
アカオハーブ&ローズガーデン	熱海市	19,576	+11.7
田貫湖キャンプ場	富士宮市	18,490	△22.7
沼津港大型展望水門「びゅうお」	沼津市	17,352	+42.8
酪農王国 オラッチェ	函南町	16,839	+20.0
石廊崎オーシャンパーク	南伊豆町	16,206	—
伊豆修善寺 虹の郷	伊豆市	15,513	△9.3
韭山反射炉	伊豆の国市	15,462	+23.1
すその美人の湯 ヘルシーパーク裾野	裾野市	14,371	+33.1
初島ところ天まつり	熱海市	14,371	+29.4
環境省田貫湖ふれあい自然塾	富士宮市	12,120	+29.6
土肥金山	伊豆市	11,862	+47.3
御胎内温泉健康センター	御殿場市	11,827	+14.5
道の駅 くるら戸田	沼津市	11,690	+32.1
江間いちご狩りセンター	伊豆の国市	11,466	+25.0
赤沢日帰り温泉館	伊東市	11,109	+50.5
恋人岬	伊豆市	9,908	△7.7
富士山天母の湯	富士宮市	8,178	+27.5
起雲閣	熱海市	6,769	+36.2
ごてんば市温泉会館	御殿場市	6,572	+15.1
藤の広場 フェスタ	伊東市	5,300	—
下賀茂温泉 銀の湯会館	南伊豆町	5,072	+45.7
東部地域その他77カ所		1,444,886	—
東部地域合計		3,189,339	+23.2
藤まつり	藤枝市	180,000	+56.5
今川復権まつり	静岡市	149,090	—
シズオカ・サンパカーニバル	静岡市	135,000	△3.6
焼津さかなセンター	焼津市	99,421	+33.5
日本平夢テラス	静岡市	74,746	—
静岡市立日本平動物園	静岡市	57,866	+8.1
清水魚市場 河岸の市	静岡市	54,363	+34.7

イベント、施設名	所在地	入出(人)	前年比(%)
日本平ローブウェイ	静岡市	50,400	+35.1
用宗漁港まつり	静岡市	40,000	△20.0
久能山東照宮	静岡市	35,680	+50.0
草薙総合運動場	静岡市	34,737	△11.9
静岡競輪場	静岡市	33,520	△7.2
さがら草競馬大会	牧之原市	30,000	+7.1
ふじのくにせかい演劇祭2019	静岡市	23,494	+47.0
グランシップ	静岡市	22,797	△4.3
東海大学海洋学部博物館	静岡市	19,490	+65.3
I A I スタジアム日本平	静岡市	18,246	+39.3
静岡市立登呂博物館	静岡市	17,084	+17.9
道の駅 川根温泉	島田市	16,387	+30.4
夢の吊橋	川根本町	15,363	△10.0
ディスカバリーパーク焼津天文科学館	焼津市	15,330	△1.2
浜岡原子力館	御前崎市	15,227	+40.2
すんぷ夢ひろば	静岡市	14,501	+34.5
さがら子生れ温泉会館	牧之原市	12,602	+33.4
笑福の湯	焼津市	12,261	+29.7
静岡市ふれあい健康増進館 ゆ・ら・ら	静岡市	9,252	+34.6
ふじのくに茶の都ミュージアム	島田市	8,802	△9.7
瀬戸谷温泉ゆらく	藤枝市	7,381	+15.4
静岡県立美術館	静岡市	7,312	+700.9
由比いいもんまつり	静岡市	5,000	—
中部地域その他44カ所		1,233,606	—
中部地域合計		2,468,384	+32.3
浜松まつり	浜松市	2,097,000	+18.3
ブレ葉ウォーク浜北	浜松市	257,000	+14.4
アクトシティ浜松	浜松市	118,679	+4.5
浜名湖ガーデンパーク	浜松市	90,183	+18.1
はままつフラワーパーク	浜松市	63,220	+35.1
静岡県立森林公園	浜松市	59,000	+7.3
道の駅 掛川	掛川市	52,148	+17.1
道の駅 潮見坂	湖西市	51,467	+21.6
浜松市動物園	浜松市	43,379	+2.8
池田・熊野の長藤まつり	磐田市	42,000	+7.7
航空自衛隊 浜松広報館	浜松市	35,635	+53.2
浜松オートレース場	浜松市	34,499	+84.3
ボートレース浜名湖	湖西市	33,098	+0.1
いわた大祭り	磐田市	30,000	—
竜ヶ岩洞	浜松市	22,619	+27.9
浜松城	浜松市	21,767	+42.1
華咲の湯	浜松市	16,979	+39.4
掛川城	掛川市	14,783	+44.3
あらたまの湯	浜松市	13,411	+20.7
森町体験の里 アクティ森	森町	12,603	+36.0
浜名湖体験学習施設ウオット	浜松市	12,446	+76.0
龍潭寺 新緑・さつきまつり	浜松市	9,470	△5.4
浜松市楽器博物館	浜松市	9,141	+60.7
道の駅 くま水車の里	浜松市	8,900	+33.0
浜名湖渚園キャンプ場	浜松市	8,258	+30.1
道の駅 いっぱく処横川	浜松市	7,888	+23.0
道の駅 天竜相津花桃の里	浜松市	7,250	△7.8
竜洋昆虫自然観察公園	磐田市	7,169	+22.7
万葉の森公園	浜松市	5,247	△28.7
西部地域その他40カ所		445,043	—
西部地域合計		3,630,282	+19.8
静岡県合計		9,288,005	+24.0

資料：図表1に同じ

注1) データ公表が可能で、入込客数が5,000人以上のイベント、施設のみを掲載した

注2) 各地域の最下部には、入出が5,000人未満およびデータ公表を不可としたイベント、施設の数字を合算して記載した

注3) 入出の合計値は、今年度の実数が把握可能なすべての数値を合算

注4) 前年比+40%以上：青太字、同△20%以下：青字

調査方法：GW期間中の主なイベントや観光・レジャー施設など、487先に調査票を発送、うち270カ所から回答を得た（回答率55.4%）